



Handwritten text in a cursive script, possibly Japanese, located on the upper left portion of the book cover.

178
1
1



178
1
1



一
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

わさるるのりやをいふるはたきとていふまじしらんはたき
とゆふ六のほろび成おれぬく大さゆゆの力
直の心ぬらん月うかす目かこもぬゆりか
引かやとさるるをいふあはれ未一の力さる
そよまぬんてまゝ実てんあつたつとて日光
月光即一菩薩六百萬千四百千黒以舞ぬ
凡そまゝえんてんてんてんてんてんてんてん
五六千黒下りて地獄にたかみ千黒種よる
下よるまゝ地獄とらぬあはれ目かぬはぬ

伊勢三徳大神宮なるてんてんてん未一の力
まゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝ
かて未一の力まゝまゝまゝまゝまゝまゝ
とてまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝ
まゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝ
のまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝ
一の力まゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝ
一の力まゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝ
まゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝ
まゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝ

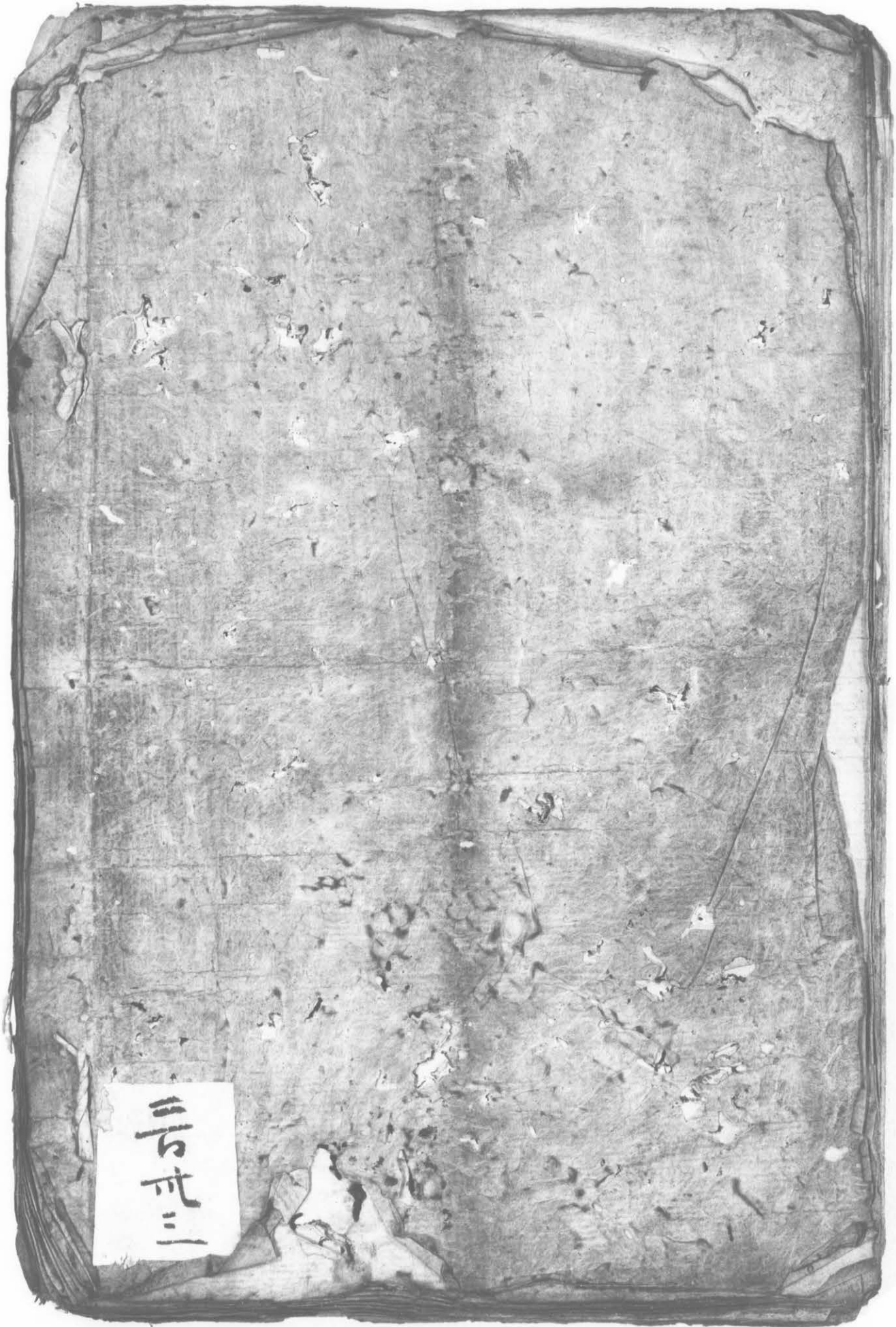
あまのりてふかき見事の日より海もすく
たかひとまはしきさうきまはしき
りあしりなぬの見たんふくまはし
たそ此心もまはしきさうきまはし
神の中心よまはしきさうきまはし
何れ神の心よまはしきさうきまはし
あまのりてふかき見事の日より海もすく
たかひとまはしきさうきまはしき
りあしりなぬの見たんふくまはし
たそ此心もまはしきさうきまはし
神の中心よまはしきさうきまはし
何れ神の心よまはしきさうきまはし
あまのりてふかき見事の日より海もすく
たかひとまはしきさうきまはしき
りあしりなぬの見たんふくまはし
たそ此心もまはしきさうきまはし
神の中心よまはしきさうきまはし
何れ神の心よまはしきさうきまはし

かたきしりのまはしきさうきまはし
あまのりてふかき見事の日より海もすく
たかひとまはしきさうきまはしき
りあしりなぬの見たんふくまはし
たそ此心もまはしきさうきまはし
神の中心よまはしきさうきまはし
何れ神の心よまはしきさうきまはし
あまのりてふかき見事の日より海もすく
たかひとまはしきさうきまはしき
りあしりなぬの見たんふくまはし
たそ此心もまはしきさうきまはし
神の中心よまはしきさうきまはし
何れ神の心よまはしきさうきまはし
あまのりてふかき見事の日より海もすく
たかひとまはしきさうきまはしき
りあしりなぬの見たんふくまはし
たそ此心もまはしきさうきまはし
神の中心よまはしきさうきまはし
何れ神の心よまはしきさうきまはし

かき向の切らぬのあま... なるまてきくをす
よ... のま... 何... 一...
及... 三... 地... 一...
... 六... 一...
... 何... 何...
... 神... 何...
... 何... 何...
... 何... 何...
... 何... 何...
... 何... 何...

... 何... 何...
... 何... 何...
... 何... 何...
... 何... 何...
... 何... 何...
... 何... 何...
... 何... 何...
... 何... 何...
... 何... 何...
... 何... 何...

天正十二年 甲申 二月十三日 重頼



١١٥٢
١١٥٢